

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 1 月 18 日 (2007.1.18)

【公開番号】特開 2005-182196 (P2005-182196A)
 【公開日】平成 17 年 7 月 7 日 (2005.7.7)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-026
 【出願番号】特願 2003-418542 (P2003-418542)
 【国際特許分類】

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

G 0 6 F 3/14 (2006.01)

【F I】

G 0 6 T 1/00 2 0 0 E

G 0 6 T 1/00 3 4 0 A

G 0 6 F 3/14 3 1 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 11 月 22 日 (2006.11.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画像を入力する画像入力ステップと、

上記画像の特徴領域検出を実行する特徴領域検出ステップと、

上記特徴領域の数および / またはサイズに基づいてあらかじめ定められた複数の表示効果の中から、上記表示効果を選択する表示効果選択ステップと、
 上記選択された表示効果に従って画像を時系列的に変化させて表示する表示ステップとを有する

ことを特徴とする画像表示方法。

【請求項 2】

上記表示ステップが、

上記特徴領域検出ステップにより得られた領域位置情報に基づいて、画像の出力を制御するようにしたステップである

ことを特徴とする請求項 1 記載の画像表示方法。

【請求項 3】

上記表示効果選択ステップが、

上記特徴領域のサイズがしきい値 以上であるか否かによって、異なる表示効果を選択する処理を含む

ことを特徴とする請求項 1 または 2 記載の画像表示方法。

【請求項 4】

上記特徴領域検出ステップが、

上記画像中から特定のパターンを検出する処理を含む

ことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項記載の画像表示方法。

【請求項 5】

上記特定のパターンが、人物の顔である

ことを特徴とする請求項 4 記載の画像表示方法。

【請求項 6】

上記特徴領域検出ステップが、
画像データに含まれる撮影情報から被写体位置を検出する処理を含む
ことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項記載の画像表示方法。

【請求項 7】

上記撮影情報が合焦位置情報である
ことを特徴とする請求項 6 記載の画像表示方法。

【請求項 8】

上記特徴領域検出ステップが、拡大操作履歴情報の取得処理を含む
ことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項記載の画像表示方法。

【請求項 9】

上記特徴領域検出ステップが、
画像中の特定パターンを検出する処理、撮影情報から被写体位置を抽出する処理および、
拡大操作履歴を取得する処理のうちの少なくとも 2 つの処理を実行するとともに、
上記表示効果選択ステップが、
上記特徴領域検出ステップの実行結果において、少なくとも 2 つの処理による結果が重複する領域を含む場合と、含まない場合とにおいて、異なる表示効果を選択する
ことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項記載の画像表示方法。

【請求項 10】

上記複数の表示効果が、特徴領域に対するズーミング処理、複数の特徴領域を通る線上を移動するパニング処理および特定領域のみを表示するマスキング処理のうちの少なくとも 1 つの処理を含む
ことを特徴とする請求項 1 乃至 9 のいずれか 1 項記載の画像表示方法。

【請求項 11】

画像を表示する表示手段と、
画像データを取得する画像データ取得手段と、
画像の特徴領域検出を行う特徴領域検出手段と、
上記特徴領域の数および / またはサイズに基づいてあらかじめ定められた複数の表示効果の中から上記表示効果を選択する表示効果選択手段と、
上記選択された表示効果に従って画像を時系列的に変化させて上記表示手段に表示する表示制御手段とを有する
ことを特徴とする画像表示装置。

【請求項 12】

上記表示制御手段が、上記特徴領域検出手段により得られた領域位置情報に基づいて、
画像の表示を制御するように構成されている
ことを特徴とする請求項 11 記載の画像表示装置。

【請求項 13】

上記表示効果選択手段が、
上記特徴領域のサイズがしきい値 以上であるか否かによって、異なる表示効果を選択するように構成されている
ことを特徴とする請求項 11 または 12 記載の画像表示装置。

【請求項 14】

上記特徴領域検出手段は、画像中から特定のパターンを検出する処理を行う
ことを特徴とする請求項 11 乃至 13 のいずれか 1 項記載の画像表示装置。

【請求項 15】

上記特定のパターンが人物の顔である
ことを特徴とする請求項 14 記載の画像表示装置。

【請求項 16】

上記特徴領域検出手段が、
画像データに含まれる撮影情報から被写体位置を検出可能に構成されている
ことを特徴とする請求項 11 乃至 13 のいずれか 1 項記載の画像表示装置。

【請求項 17】

上記撮影情報が合焦位置情報である

ことを特徴とする請求項 16 記載の画像表示装置。

【請求項 18】

上記特徴領域検出手段に、拡大操作がされた履歴の情報を含む操作履歴情報が供給されるように構成されている

ことを特徴とする請求項 11 乃至 13 のいずれか 1 項記載の画像表示装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

この第 1 の発明において、典型的には、表示ステップは、特徴領域検出ステップにより得られた領域位置情報に基づいて、画像の出力を制御するようにしたステップである。また、この発明において、表示効果選択ステップは、特徴領域のサイズがしきい値以上であるか否かによって異なる表示効果を選択する処理を含む。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

また、この第 2 の発明において、典型的には、表示効果選択手段は、特徴領域のサイズがしきい値以上であるか否かによって、異なる表示効果を選択するように構成されている。